

生きもの

DE

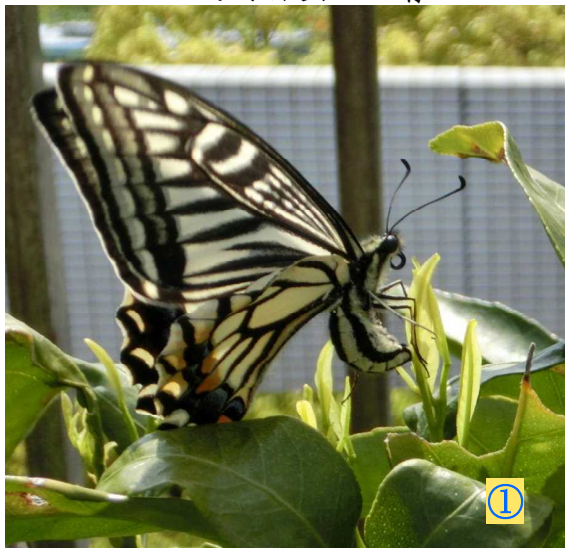
すわ

令和3年10月28日発行

文・写真・絵 生きもの集め隊 隊長 平野 邦好

ナミアゲハ

ほかのアゲハチョウと区別するためにナミアゲハといいます。幼虫はミカンの仲間の葉を食べて大きくなります。幼虫は脱皮（1齢から5齢）を繰り返して大きくなります。4齢までは鳥のふんに似ていて（擬態といいます。）終齢幼虫は緑色の保護色になります。諏訪小では、4年前に植えたキンカンの木に毎年卵を産んでいます。しかし、幼虫には敵が多く、キンカンの木も小さいため敵に見つかりやすく、まだ終齢幼虫まで育つことができていません。



① ミカンの葉に卵を産むナミアゲハです。



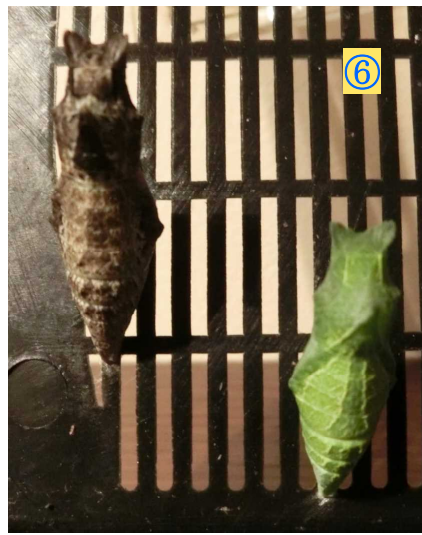
② 鳥のふんに似た4齢幼虫です。



③ 4齢の皮を脱いで、終齢幼虫になりました。



④ ポケモンのキャタピーのモデルです。目のように見えるのは、眼状紋で敵を驚かすためにあります。この部分は幼虫の胸の部分になります。臭い白いを出す臭角も敵から身を守る役目をします。腹脚に白斑が並ぶのが、ナミアゲハの幼虫の特徴です。



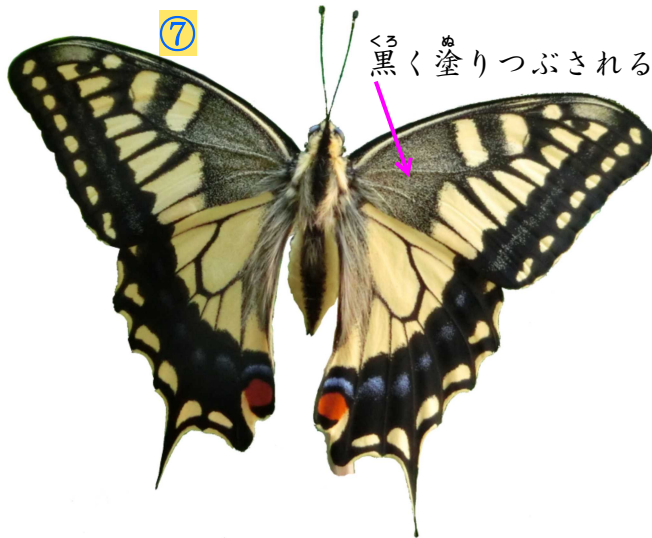
⑤ 蛹化：腹端を固定し、胸部を糸で支えて蛹になる準備をしています。

⑥ 蛹の色には2種類あります。同じ日に同じ場所で蛹になったのに、色が違います。理由は分かりません。どちらも無事に羽化しました。

ナミアゲハに似たアゲハにキアゲハがいます。キアゲハの幼虫は、セリ科の植物の葉を食べます。三浦半島では、ナミアゲハと同じように普通に見られます。諏訪小にもセリ科の植物を植えてありますが、いまだに産卵は見られません。

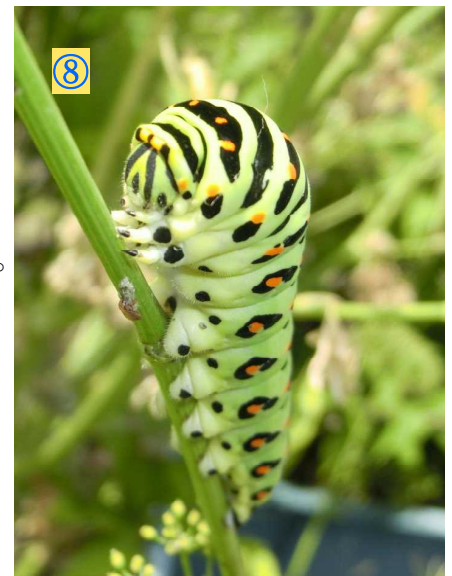
キアゲハの幼虫は派手な色や模様をしていますが、ニンジンやパセリの葉にいと、この模様が保護色になり全く目立ちません。

ナミアゲハとキアゲハの成虫を色で判別すると、間違えます。前羽の肩の部分ナミアゲハは縞模様で、キアゲハは黒く塗りつぶされています。



⑦ キアゲハです。

⑧ 派手なキアゲハの終齢幼虫です。



⑨ 求愛行動をするナミアゲハです。前羽の肩の部分縞模様なので、両方ともナミアゲハであることがわかります。左の白っぽい方がオスで、右の黄色っぽい方がメスです。

